

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2013-50875(P2013-50875A)

【公開日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2011-188976(P2011-188976)

【国際特許分類】

G 06 F 15/00 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 15/00 420 A

G 06 F 13/00 510 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月1日(2014.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するために、請求項1の情報処理装置は、前記情報処理装置におけるアプリケーションの動作ポートが示されたポート情報を管理する管理手段と、第1のアプリケーションに対して第2のアプリケーションのリンクを登録する場合において、前記第1のアプリケーションのWebページから前記第2のアプリケーションのWebページにリンクするためのURLの指定が、ポート番号を省略した相対パス指定により行われている場合には、前記第2のアプリケーションが動作しているポートを示すポート情報を、前記管理手段に問い合わせることにより取得する取得手段と、前記取得手段により取得されたポート情報を含む、前記第1のアプリケーションから前記第2のアプリケーションにリンクするためのURLを生成する生成手段とを有することを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置であって、

前記情報処理装置におけるアプリケーションの動作ポートが示されたポート情報を管理する管理手段と、

第1のアプリケーションに対して第2のアプリケーションのリンクを登録する場合において、前記第1のアプリケーションのWebページから前記第2のアプリケーションのWebページにリンクするためのURLの指定が、ポート番号を省略した相対パス指定により行われている場合には、前記第2のアプリケーションが動作しているポートを示すポート情報を、前記管理手段に問い合わせることにより取得する取得手段と、

前記取得手段により取得されたポート情報を含む、前記第1のアプリケーションから前記第2のアプリケーションにリンクするためのURLを生成する生成手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 2】**

前記生成手段により生成されたＵＲＬを前記第1アプリケーションに対して登録する登録手段を更に有することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

**【請求項 3】**

前記アプリケーションはＷｅｂアプリケーションであることを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理装置。

**【請求項 4】**

前記管理手段は、前記アプリケーションが動作しているポートが変更されたときは、変更された動作ポートが示されたポート情報を記憶することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

**【請求項 5】**

前記生成手段は、前記ＵＲＬを、前記取得手段により取得したポート情報を含む相対パスで生成することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

**【請求項 6】**

前記生成手段は、前記Ｗｅｂアプリケーションが動作する装置のIPアドレスに応じて前記ＵＲＬを生成することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

**【請求項 7】**

前記リンクは、前記第1のアプリケーションのＷｅｂページから、前記第2のアプリケーションのＷｅｂページに遷移するためのリンクであることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

**【請求項 8】**

前記第1のアプリケーションのＷｅｂページには、前記情報処理装置の状況情報や消耗品情報が前記リンクとともに表示されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の情報処理装置。

**【請求項 9】**

情報処理装置の制御方法であって、

前記情報処理装置におけるアプリケーションの動作ポートが示されたポート情報を管理する管理ステップと、

第1のアプリケーションに対して第2のアプリケーションのリンクを登録する場合において、前記第1のアプリケーションのＷｅｂページから前記第2のアプリケーションのＷｅｂページにリンクするためのＵＲＬの指定が、ポート番号を省略した相対パス指定により行われている場合には、前記第2のアプリケーションが動作しているポートを示すポート情報を、前記管理手段に問い合わせることにより取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得されたポート情報を含む、前記第1のアプリケーションから前記第2のアプリケーションにリンクするためのＵＲＬを生成する生成ステップとを有することを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 10】**

情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記制御方法は、

前記情報処理装置におけるアプリケーションの動作ポートが示されたポート情報を管理する管理ステップと、

第1のアプリケーションに対して第2のアプリケーションのリンクを登録する場合において、前記第1のアプリケーションのＷｅｂページから前記第2のアプリケーションのＷｅｂページにリンクするためのＵＲＬの指定が、ポート番号を省略した相対パス指定により行われている場合には、前記第2のアプリケーションが動作しているポートを示すポート情報を、前記管理手段に問い合わせることにより取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得されたポート情報を含む、前記第1のアプリケーションから前記第2のアプリケーションにリンクするためのＵＲＬを生成する生成ステップとを有することを特徴とするプログラム。